

JV34-260



UJF-3042
UV PRINTER



TextileJET
Tx400-1800B



第36期(2011年3月期) 決算説明会

2011年5月20日

株式会社 ミマキエンジニアリング
JASDAQ 証券コード:6638

- ❖ 2011年3月期連結業績
- ❖ 四半期連結業績推移
- ❖ 2012年3月期連結業績予想
- ❖ 当社の経営戦略

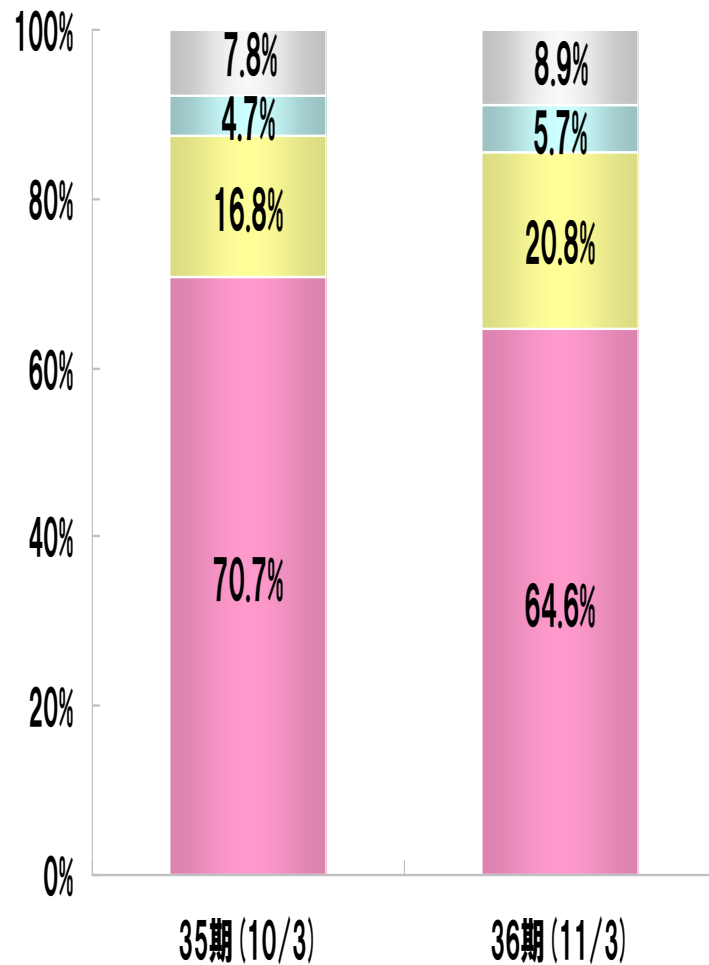
連結業績ハイライト

(百万円、%)	35期(10/3)	36期(11/3)	増減額	増減率
売上高	23,284	25,620	2,335	10.0
営業利益	△168	700	868	—
経常利益	△481	351	832	—
当期純利益	△523	144	667	—
為替レート(期中平均)				
米ドル	92.86円	85.72円	7.14円高	7.7
ユーロ	131.16円	113.13円	18.03円高	13.7

・円高の影響による為替差損(36期190M)が発生

機種群別売上高

【構成比率】



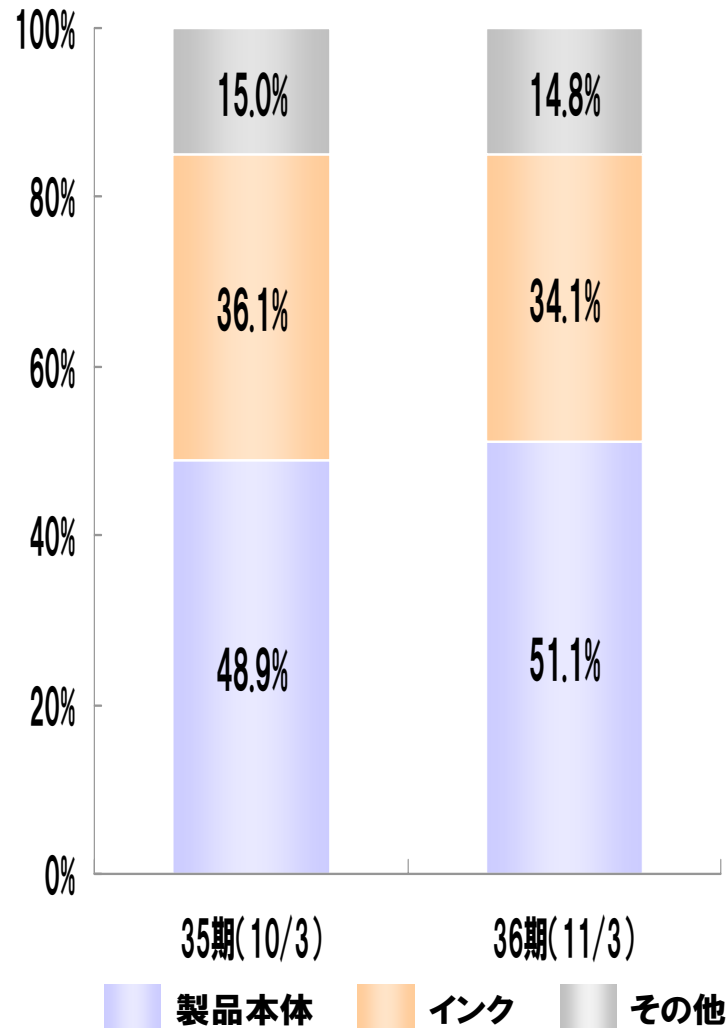
(百万円、%)	35期 (10/3)	36期 (11/3)	増減額	増減率
SG市場向け	16,455	16,564	109	0.7
IP市場向け	3,924	5,333	1,408	35.9
TA市場向け	1,088	1,450	361	33.2
その他	1,816	2,272	456	25.1
合計	23,284	25,620	2,335	10.0

- ・SG:JV5、JV33シリーズが順調に推移
- ・IP:UJF-3042の市場支持による売上伸長、新規顧客の開拓等に奏功
- ・TA:Tx400シリーズの投入効果による増収

SG市場向け IP市場向け TA市場向け その他

品目別売上高

【構成比率】

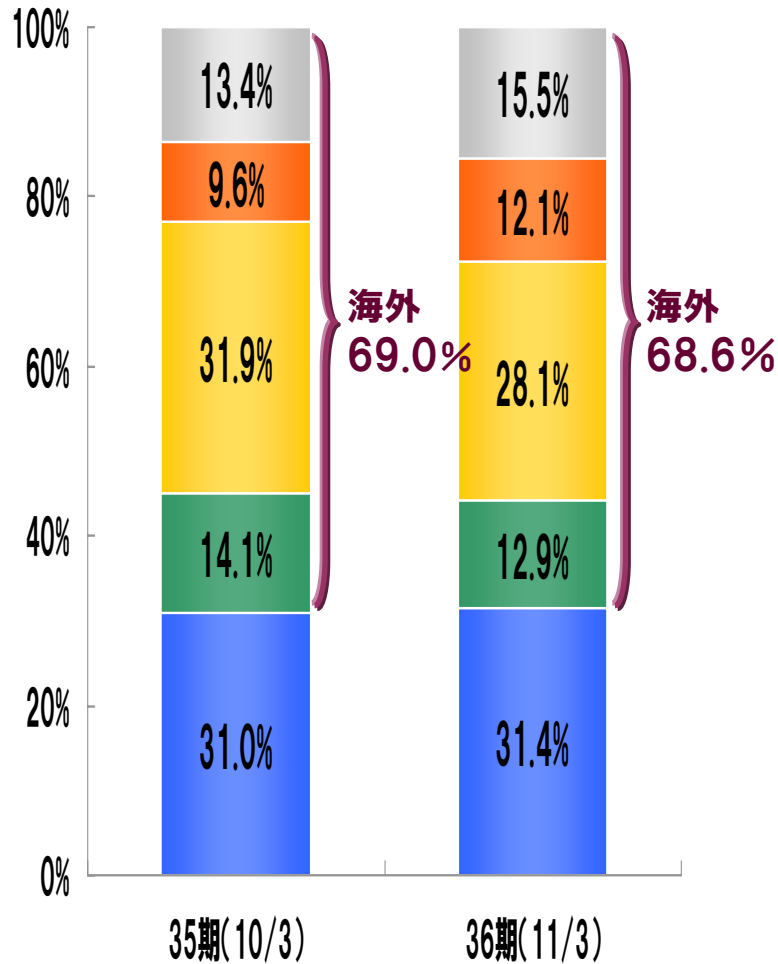


(百万円、%)	35期 (10/3)	36期 (11/3)	増減額	増減率
製品本体	11,383	13,107	1,723	15.1
インク	8,408	8,731	323	3.8
その他	3,492	3,781	288	8.3
合計	23,284	25,620	2,335	10.0

- ・製品本体:JV5シリーズ、JV33シリーズが順調に売上を伸ばし、UJF-3042の好調が続いた
- ・インク:著しい円高の中、回復基調で推移した

エリア別売上高

【構成比率】



(百万円、%)	35期 (10/3)	36期 (11/3)	増減額	増減率
国内	7,224	8,033	809	11.2
北米	3,285 (35.3M\$)	3,311 (38.6M\$)	26 (3.2M\$)	0.8 (9.2)
欧州	7,412 (56.5M€)	7,205 (63.6M€)	△206 (7.1M€)	△2.8 (12.7)
アジア	2,237	3,092	855	38.2
その他	3,125	3,976	851	27.2
合計	23,284	25,620	2,335	10.0

※上表中の、北米、欧州の下段()の数値は、現地通貨ベース

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ アジア ■ その他

要約貸借対照表

【資産の部】

(百万円)	35期 (10/3)	36期 (11/3)	増減額
現金及び預金	2,501	2,597	96
受取手形・売掛金	4,062	4,894	832
たな卸資産	6,779	7,020	240
その他流動資産	879	718	△160
流動資産合計	14,223	15,231	1,008
有形固定資産	6,152	5,734	△417
無形固定資産	485	323	△161
投資その他の資産	1,269	1,065	△203
固定資産合計	7,907	7,124	△782
資産合計	22,130	22,355	225

・たな卸資産
 商品及び製品(+410M)
 仕掛品(△70M)
 原材料及び貯蔵品(△99M)

・有形固定資産
 建物及び構築物の減少
 (△253M)

要約貸借対照表

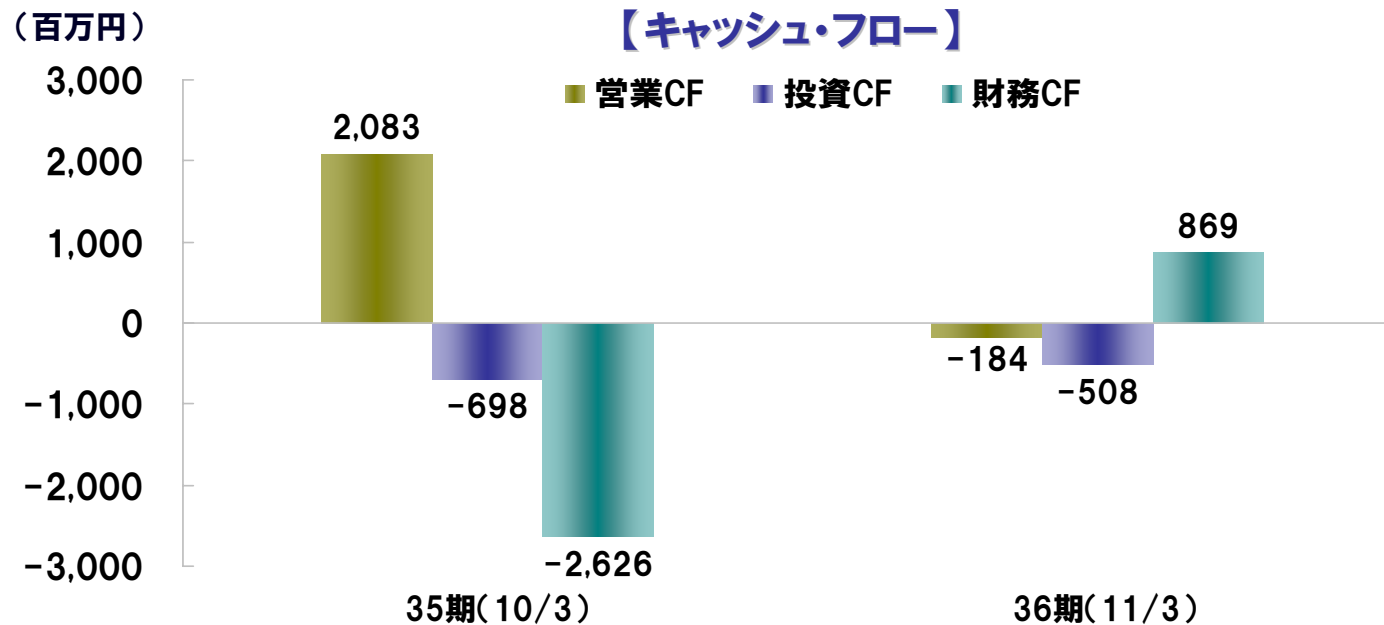
【負債・純資産の部】

(百万円)	35期 (10/3)	36期 (11/3)	増減額
支払手形・買掛金	5,304	4,442	△862
短期借入金・ 1年内予定長期借入金	5,050	5,896	846
その他流動負債	2,519	2,664	145
流動負債合計	12,874	13,003	128
長期借入金	2,122	2,367	244
その他固定負債	775	763	△12
固定負債合計	2,898	3,130	232
負債合計	15,773	16,134	361
純資産合計	6,357	6,221	△135
負債、純資産合計	22,130	22,355	225

・借入金
短期借入金増加(+727M)
1年内予定長期借入金増加
(+119M)
長期借入金増加(+244M)

・純資産
為替換算調整勘定の減少
(△203M)

キャッシュ・フロー



・営業キャッシュ・フローの主な内容

マイナス: 売上債権増加 877百万円、仕入債務減少 857百万円

プラス: 減価償却費 1,086百万円

(前年は、仕入債務増加 1,248百万円)

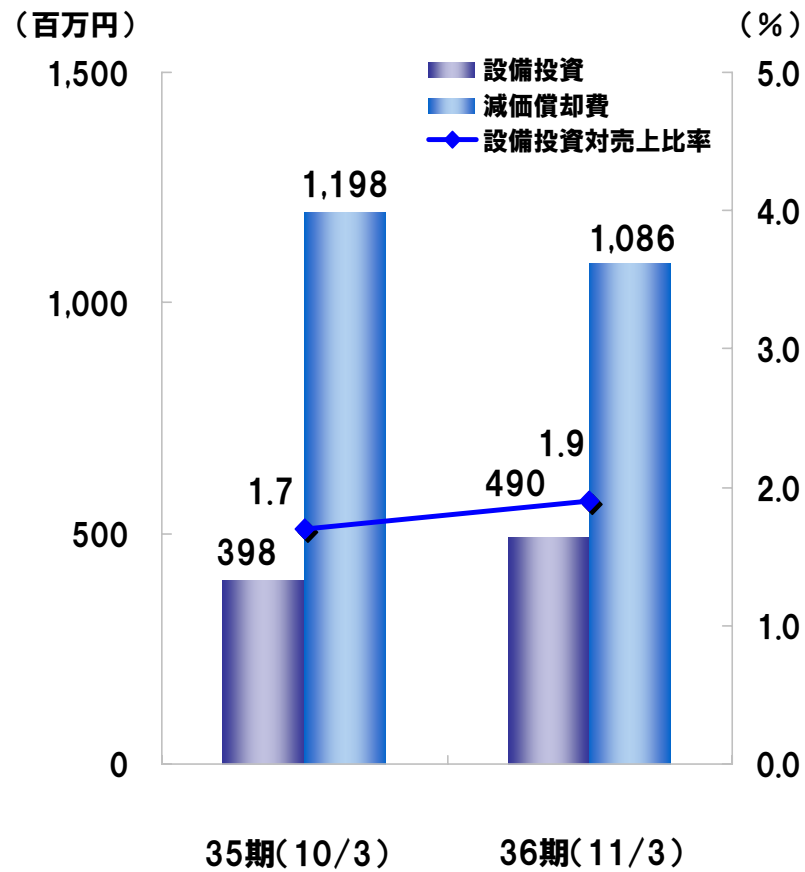
・財務キャッシュ・フローの主な内容

マイナス: 長期借入金返済 836百万円

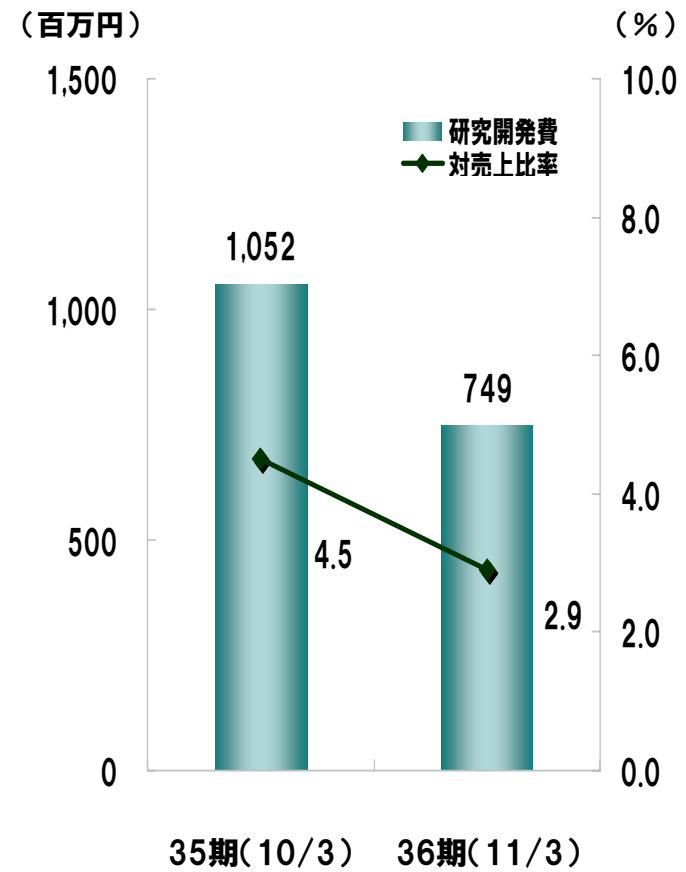
プラス: 長期借入金借入 1,200百万円

設備投資、研究開発費

【設備投資・減価償却費】

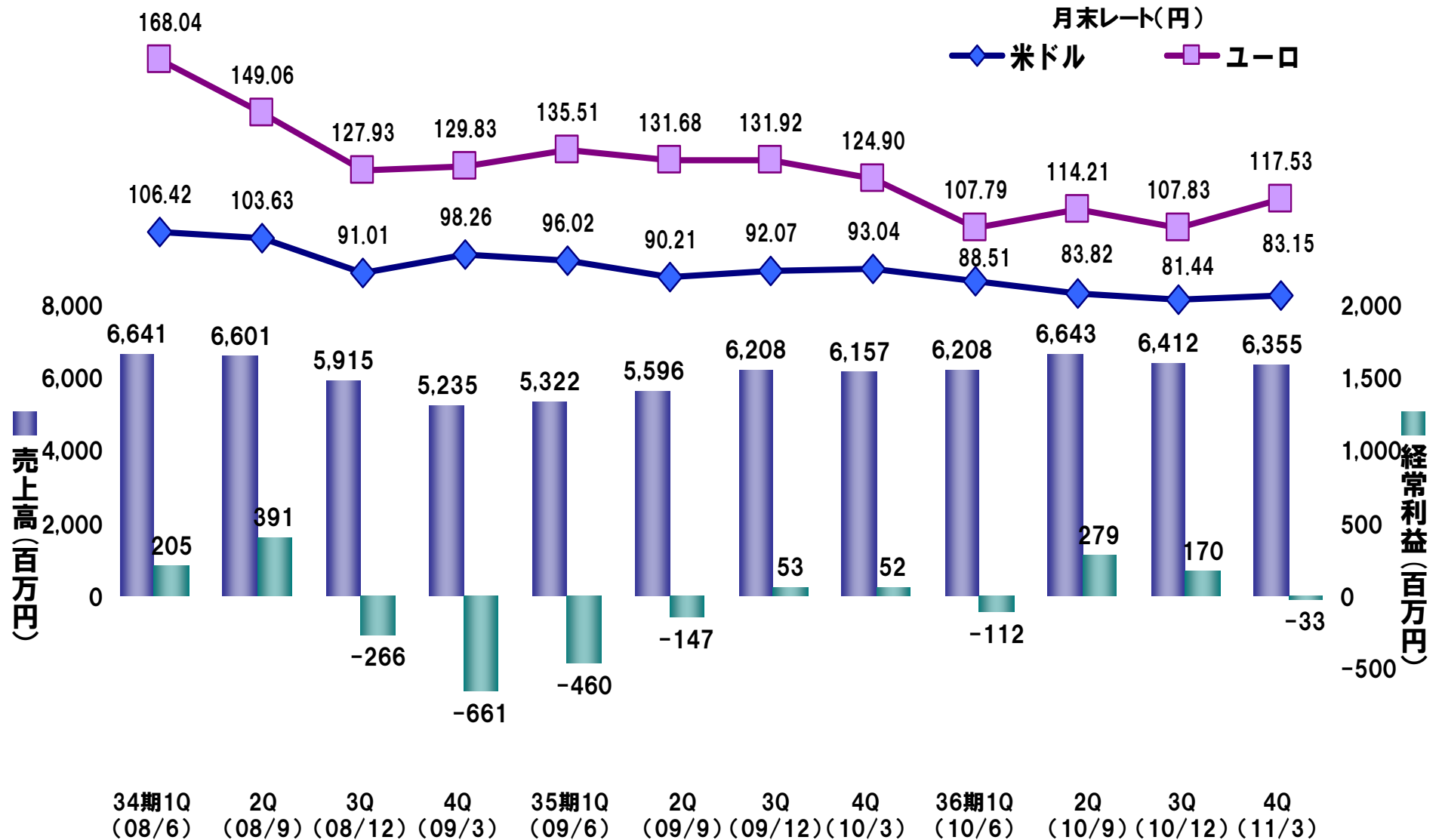


【研究開発費】



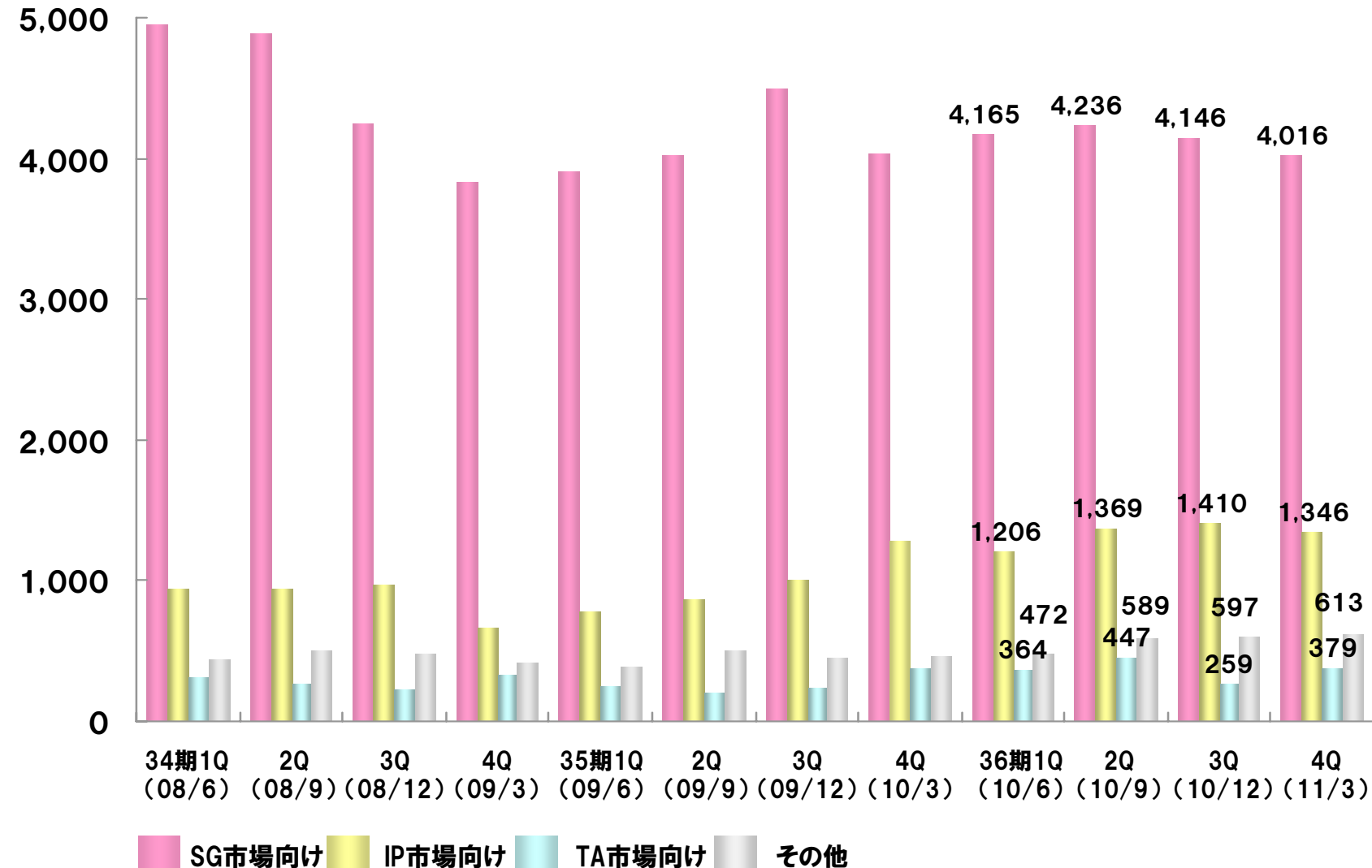
- ❖ 2011年3月期連結業績
- ❖ 四半期連結業績推移**
- ❖ 2012年3月期連結業績予想
- ❖ 当社の経営戦略

四半期連結業績推移

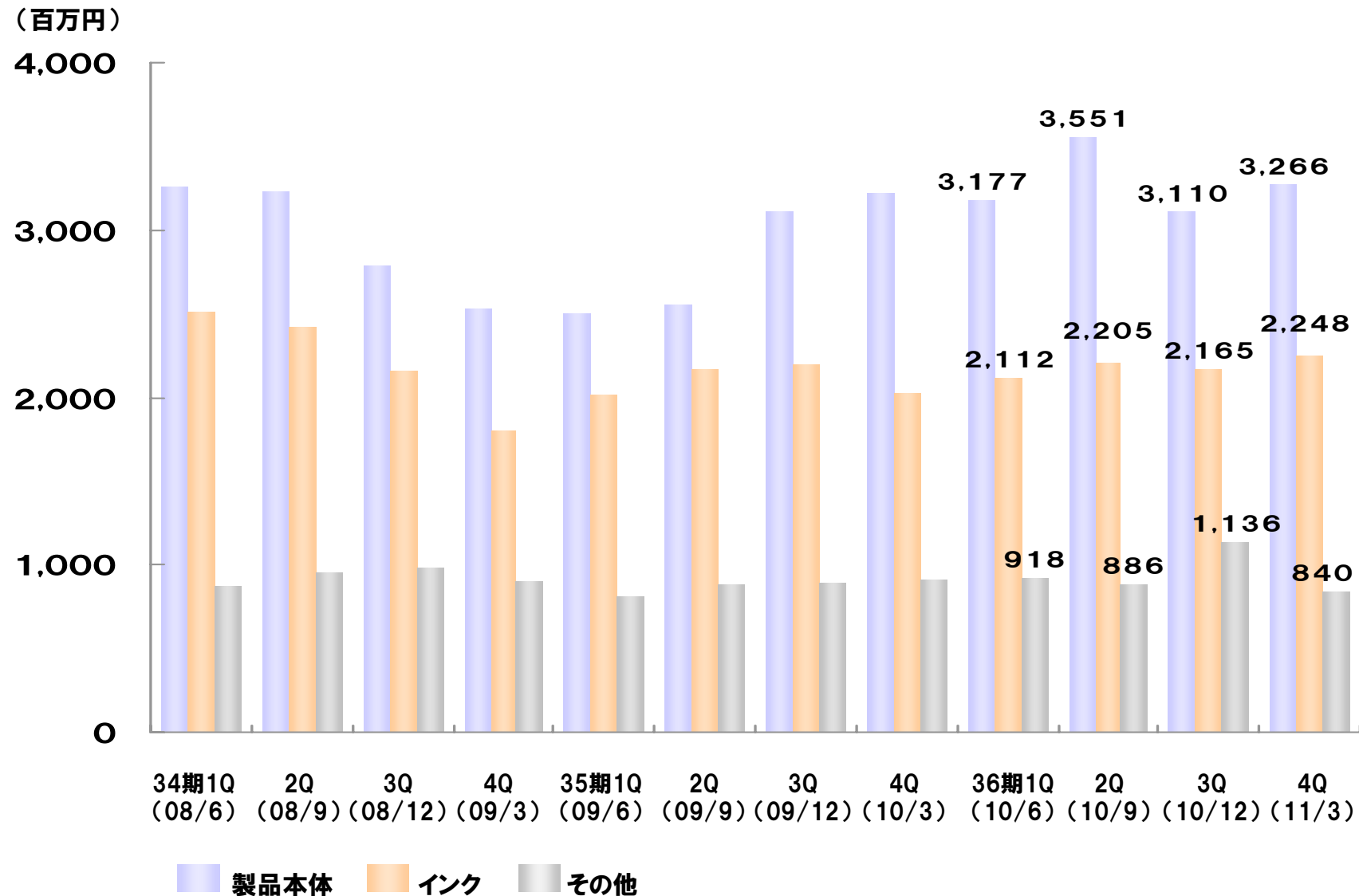


機種群別四半期売上高

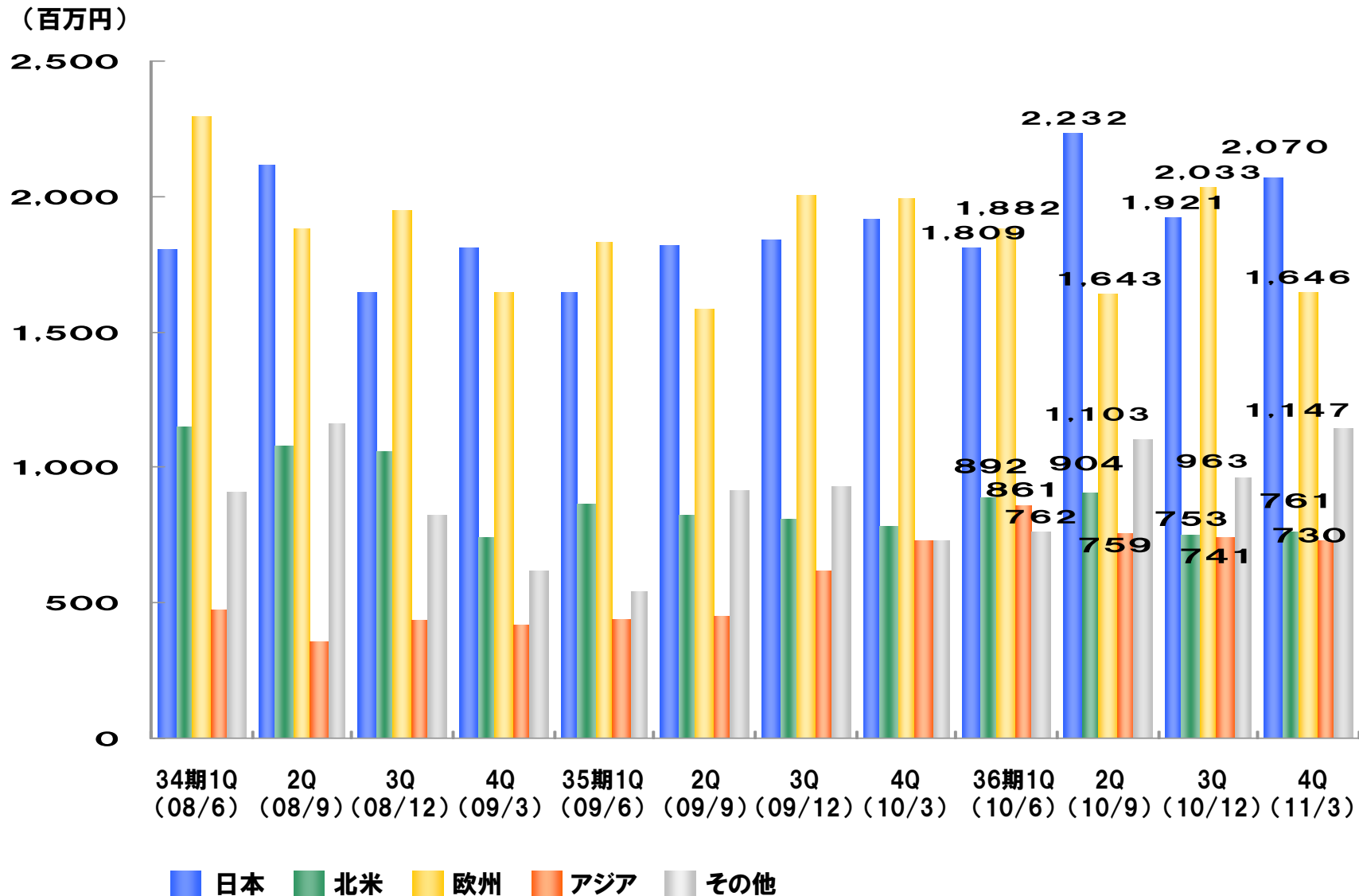
(百万円)



品目別四半期売上高

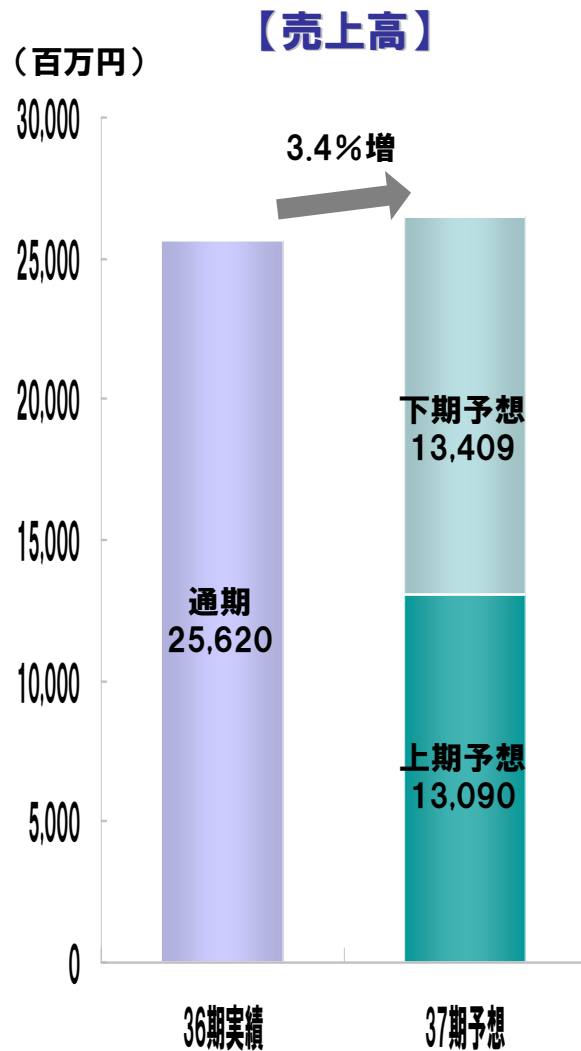


エリア別四半期売上高



- ❖ 2011年3月期連結業績
- ❖ 四半期連結業績推移
- ❖ 2012年3月期連結業績予想**
- ❖ 当社の経営戦略

連結業績予想



(百万円、%)	36期実績	37期予想			対36期	
		上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	25,620	13,090	13,409	26,500	879	3.4
営業利益	700	280	339	620	△80	△11.5
経常利益	351	197	252	450	98	28.0
当期純利益	144	92	91	184	39	27.6

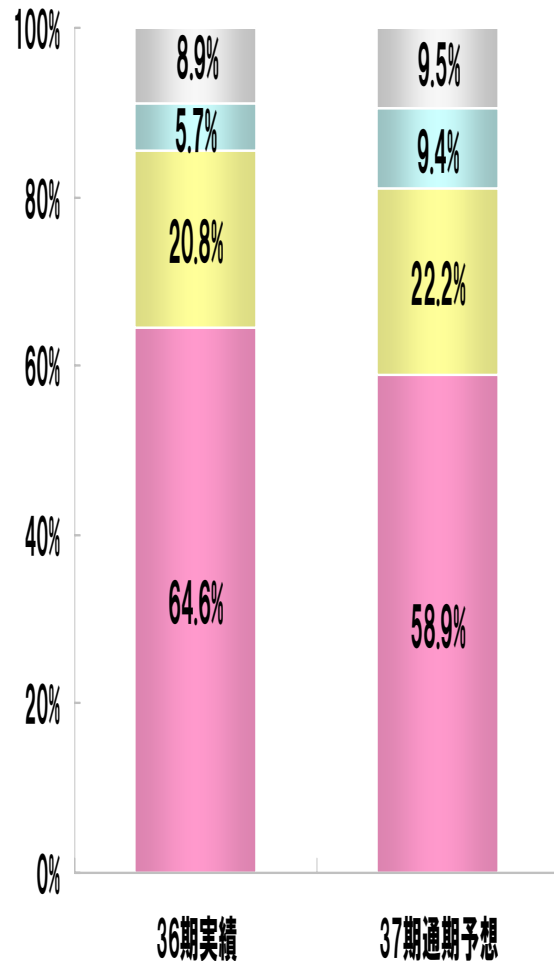
為替レート(円、%)

米ドル	85.72	82.00	△3.7	△4.3
ユーロ	113.13	110.00	△3.1	△2.8

36期実績に基づく為替感応度(理論値)
 (為替レート1円変動による営業利益影響額:12か月相当額)
 米ドル:22百万円
 ユーロ:59百万円

機種群別売上高予想

【構成比率】



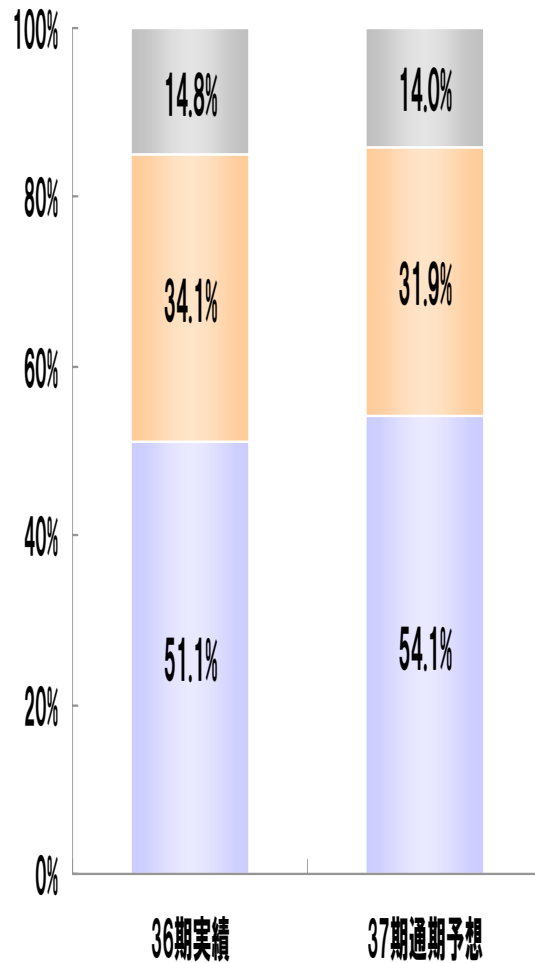
(百万円、%)	36期実績	37期予想			対36期	
		上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
SG市場向け	16,564	7,939	7,680	15,620	△944	△5.7
IP市場向け	5,333	2,762	3,128	5,890	557	10.4
TA市場向け	1,450	1,167	1,314	2,481	1,031	71.1
その他	2,272	1,221	1,286	2,507	234	10.3
合計	25,620	13,090	13,409	26,500	879	3.4

下期売上高予想は、為替想定の変更による影響を含む
 SG: 為替の想定レートを円高としたことによる減収
 IP: UJF-3042の好調継続に加えて、JFXシリーズ新製品による高額商品の拡販による増収
 TA: 新たな捺染インクの投入による製品本体の拡販による増収

SG市場向け IP市場向け TA市場向け その他

品目別売上高予想

【構成比率】



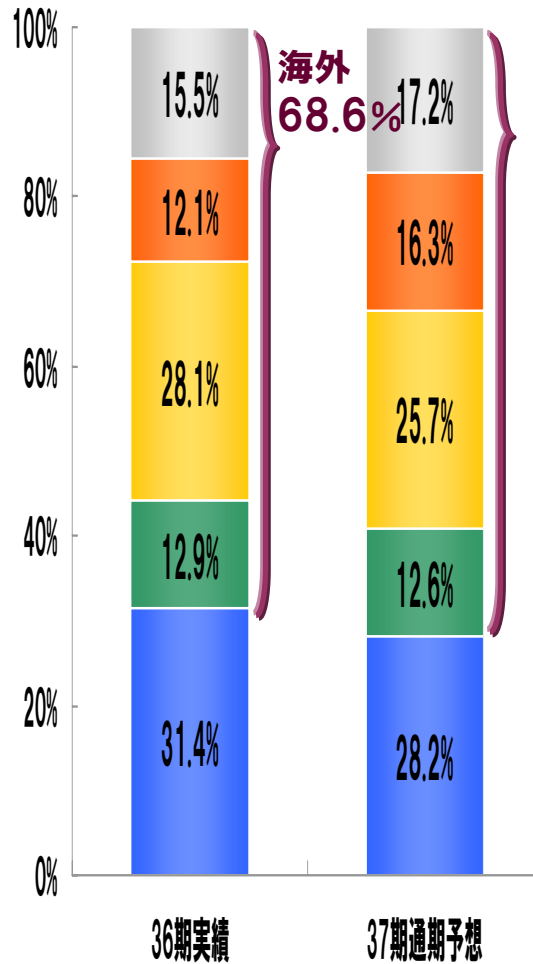
(百万円、%)	36期実績	37期予想			対36期	
		上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
製品本体	13,107	7,051	7,270	14,322	1,215	9.3
インク	8,731	4,211	4,247	8,458	△273	△3.1
その他	3,781	1,827	1,891	3,718	△62	△1.7
合計	25,620	13,090	13,409	26,500	879	3.4

製品本体:UJF-3042の好調継続、JFXシリーズ、Tx400シリーズの拡販による増収
 インク:SG市場の需要予測と円高想定の影響による減収

製品本体 インク その他

エリア別売上高予想

【構成比率】



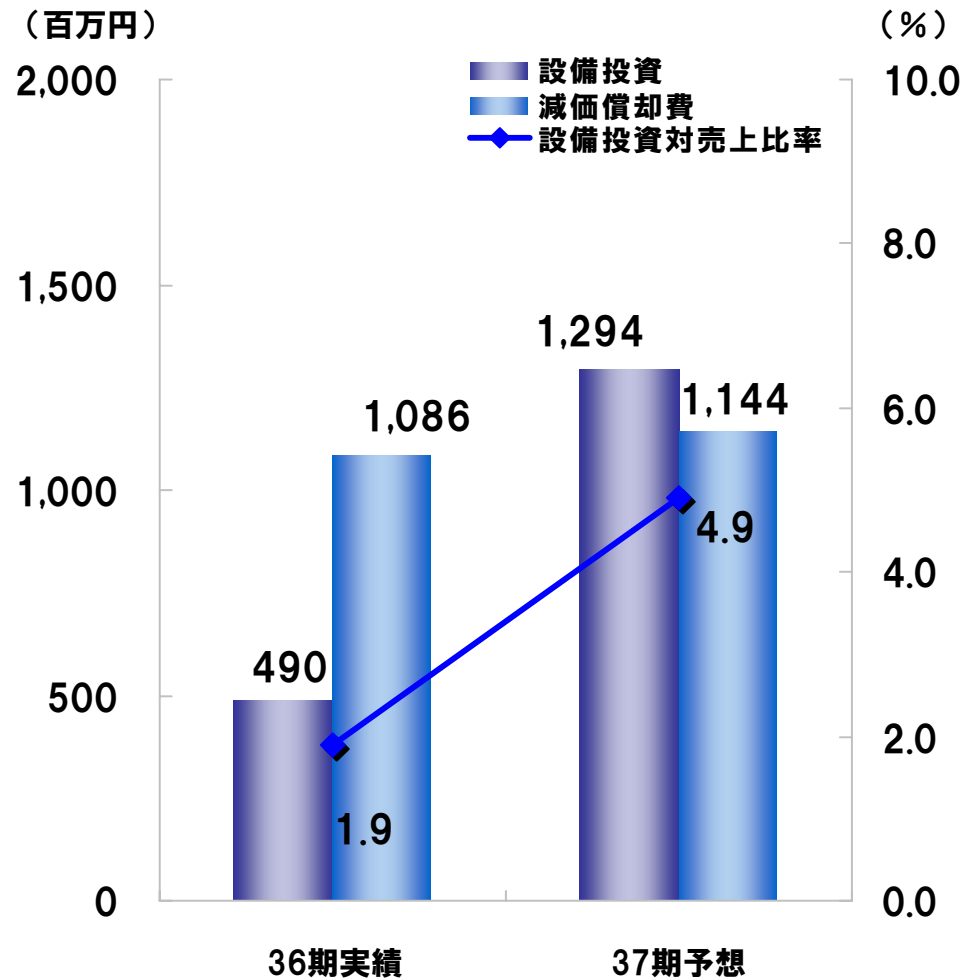
	36期実績	37期予想			対36期	
		上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
国内	8,033	3,643	3,829	7,472	△561	△7.0
北米	3,311 (38.6M\$)	1,694 (20.6M\$)	1,633 (19.9M\$)	3,328 (40.5M\$)	16 (1.9M\$)	0.5 (5.1)
欧州	7,205 (63.6M€)	3,351 (30.4M€)	3,463 (31.4M€)	6,814 (61.9M€)	△390 (△1.7M€)	△5.4 (△2.7)
アジア	3,092	2,041	2,277	4,319	1,226	39.7
その他	3,976	2,359	2,206	4,565	588	14.8
合計	25,620	13,090	13,409	26,500	879	3.4

※上表中の、北米、欧州の下段()の数値は、現地通貨ベース

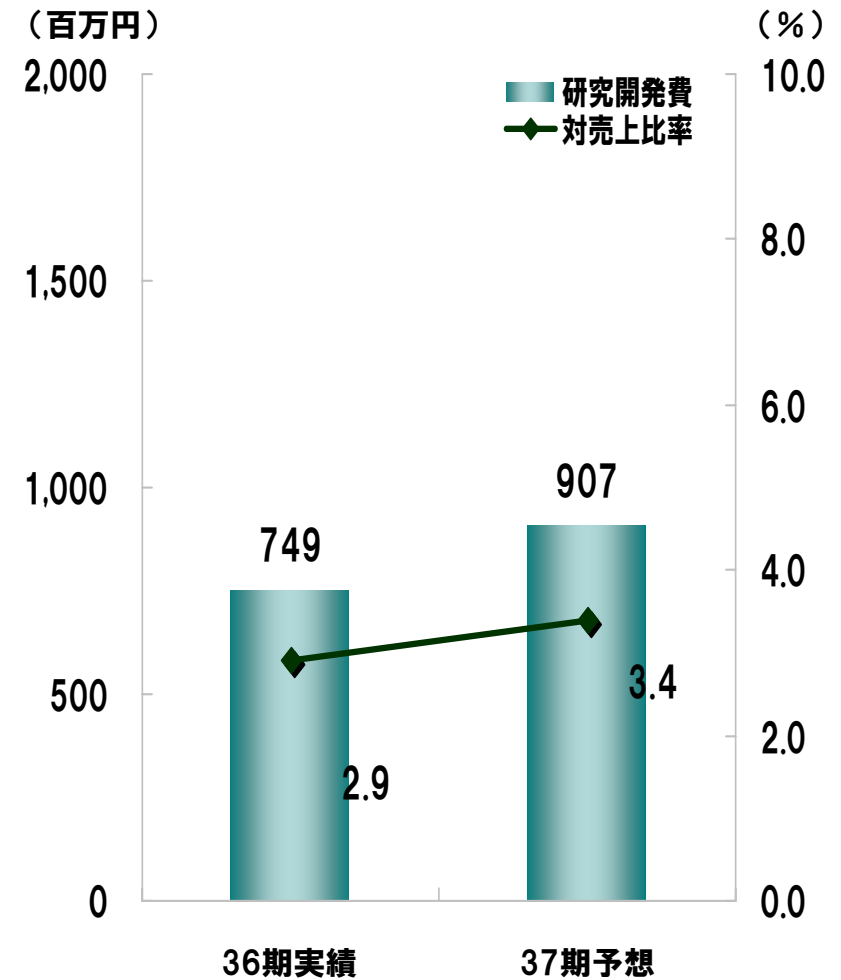
■ 国内 ■ 北米 ■ 欧州 ■ アジア ■ その他

設備投資、研究開発費、減価償却費予想

【設備投資・減価償却費】



【研究開発費・対売上比率】



- ❖ 2011年3月期連結業績
- ❖ 四半期連結業績推移
- ❖ 2012年3月期連結業績予想
- ❖ **当社の経営戦略**

経営戦略 『ユーザー視点で取組む』

全社戦略

ユーザー視点で取組む産業用インクジェットプリンタ & カuttingプロッタによる
オンデマンドマニファクチャリングの推進

差別化を狙った商品開発

- ✓ 市場の求めを捉え、付加価値を備えた製品開発への取組み
⇒多様化、高速化、低ランニングコスト化
- ✓ インクを中心としたアフターマーケットビジネスを支える開発の強化
⇒インク開発、前後処理技術ノウハウの確立
- ✓ エコ対応メリットを生み出す製品開発の取組み強化
⇒エコインクの開発、省資源・省電力・廃棄物の低減への取組み

ユーザーメリットの追求による顧客創造

- ✓ 販売・サービス網の整備
⇒ミマキユーザーのCS向上、固定客づくり
- ✓ すべての関係者(ディストリビューター・ディーラー・製品ユーザーとそのクライアント)からの情報収集力の強化
⇒的確なニーズの把握に基づく、ユーザーの儲けに繋がる提案
- ✓ マシン+ノウハウの提供
⇒製品性能と活用ノウハウを含むプリントシステムの訴求による顧客開拓

フレキシブル対応が可能なコスト構造への取組み

- ✓ 生産、調達のグローバル化によるコスト削減、リスク低減
- ✓ 需要変動に適応するためのQCD(品質、コスト、納期)管理の強化

SG(広告・看板)市場向け 事業戦略

商品戦略

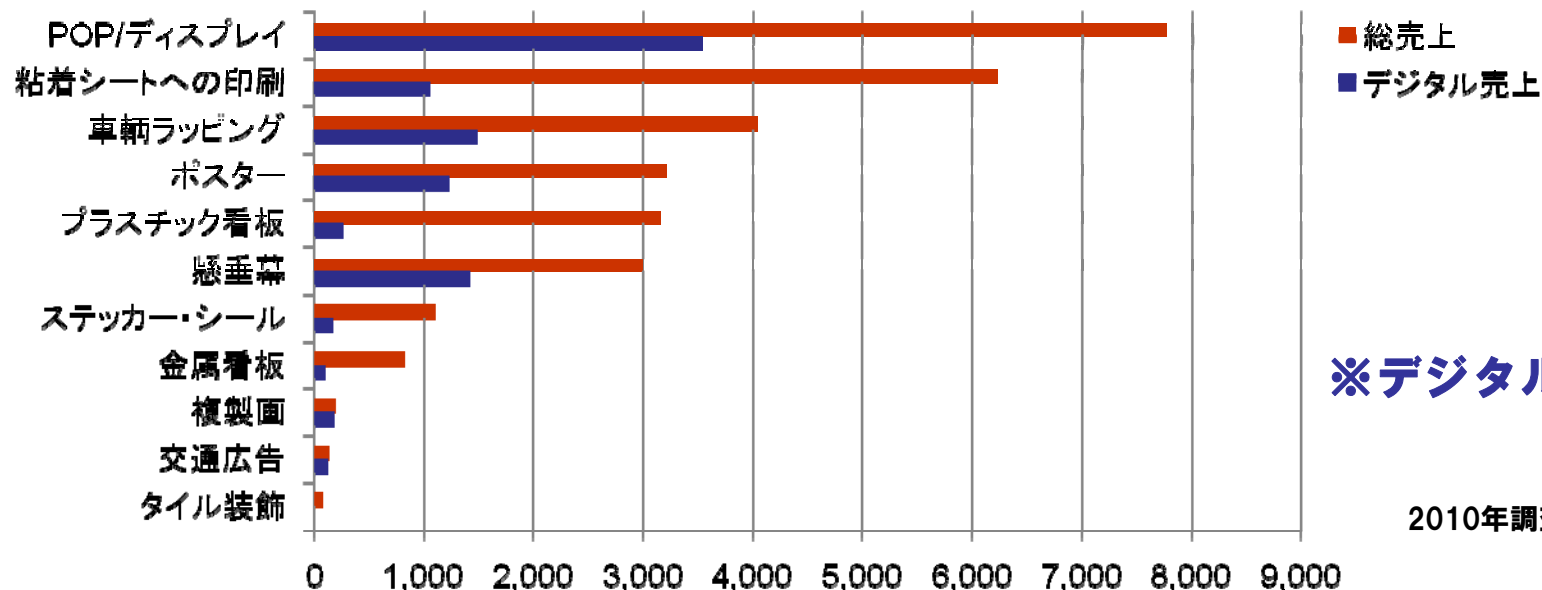
- 環境に優しいプリンタの開発
- 拡大の見込める新興国のボリュームゾーン向けプリンタ開発の強化
- 高速プリントニーズに応える高画質・低ランニングコストプリンタの開発

販売戦略

- 新興国：“価値ある安さ”の訴求による導入ニーズの取込み
- 先進国：“トータルサービス”の訴求による買い替えニーズの取込み
- スクリーン印刷市場のデジタル化の推進
- 環境に優しいソフトサインの販売促進

米国SG市場デジタル進行度

単位：M\$



※デジタル化比率32.5%

2010年調査会社推計データより

IP(産業用途)市場向け 事業戦略

商品戦略

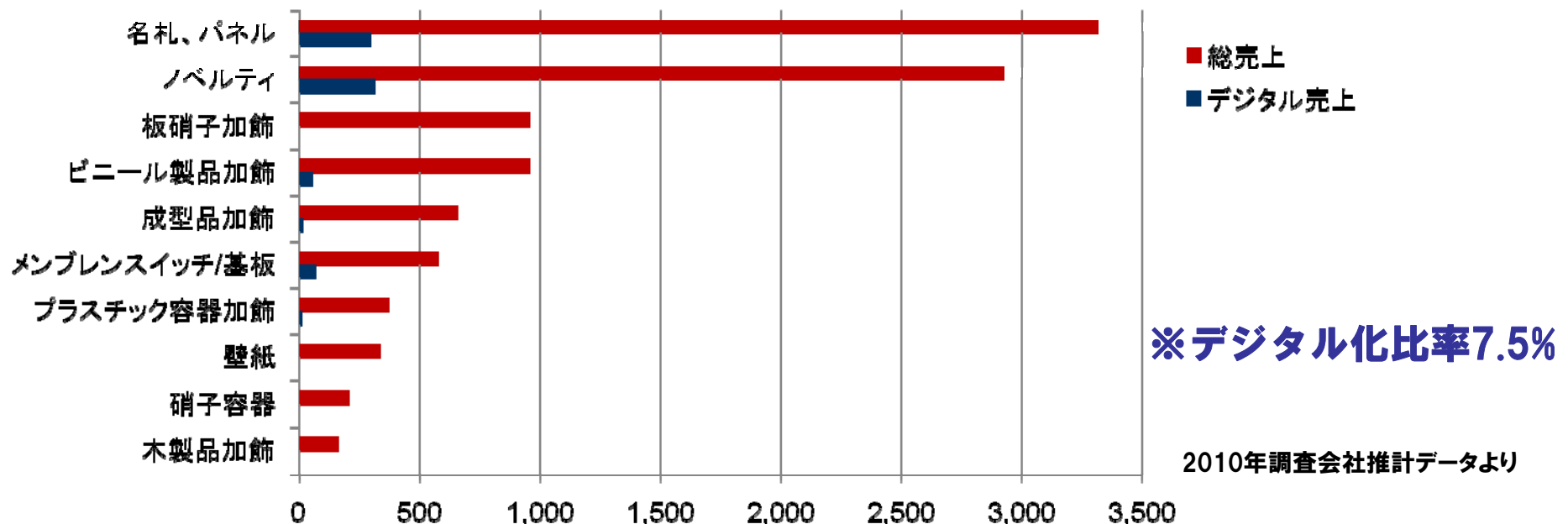
- 工業印刷、パッド印刷のデジタル化及び無人化を狙った商品の投入
- 低価格化、サイズ展開により、競合に勝る商品企画の推進
- LED-UV技術を中心としたエコ・グリーン製品の開発

販売戦略

- 工業印刷市場へのオンデマンドプリントの提案
- 素材に適したプリントノウハウの提供
- 生産ラインの能力を向上させる前後工程を含めたプリントシステムの提案

米国IP市場デジタル進行度

単位：M\$



TA(布地・衣類)市場向け 事業戦略

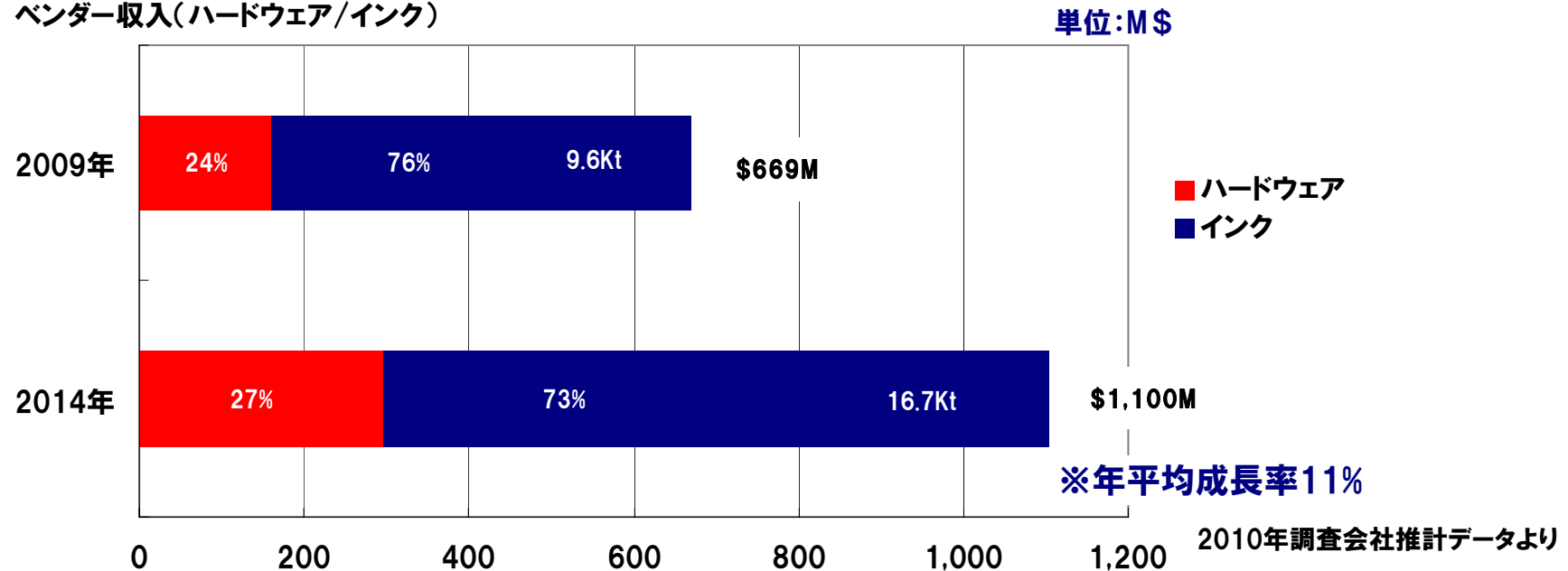
商品戦略

- 生産性を向上させた製品と機能性インクの市場投入
- 高速性能を強化し無人運転可能な高生産性機種の開発

販売戦略

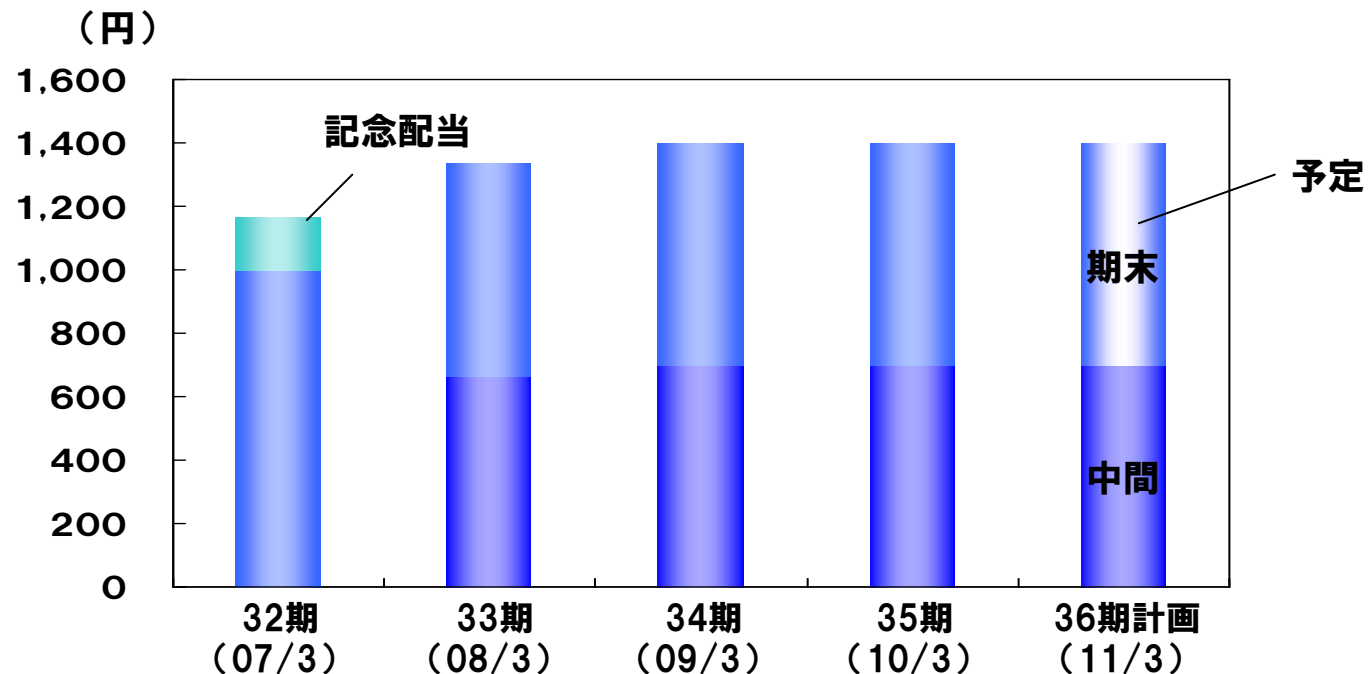
- 前後工程を含めたテキスタイル市場のデジタル化を推進
- インクを中心としたアフターマーケットビジネスの拡大
- 専門チームの編成による販売促進活動の展開

WWデジタルテキスタイル予測：ロールtoロール、フラットベッド/DTGプリンタ
ベンダー収入(ハードウェア/インク)



配当方針

株主への還元を第一として、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。



(注)2008年4月1日付で、1:3の株式分割を実施しております。上記グラフでは、過去との比較を容易にするため、32期及び33期の配当金額を便宜上3分の1にして表記しております。

震災の影響について

この度の東日本大震災及び長野県北部地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。
皆様の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

■被害の状況について

当社グループ従業員・家族を含めた、人的被害はございません。また、当社の本社を含む長野県内の工場等設備についても被害はございません。

仙台営業所においては、当初営業を見合わせておりましたが、営業を再開し、お客様のサポート強化を目的として、山形県天童市に「山形サテライト」を開設いたしました。

■今後の見通しについて

東日本大震災の影響については、現時点で把握可能なものを次期の計画に考慮しておりますが、東北地方のお客様に対するサービス体制も通常通りに戻りつつあること、当社の生産体制への重大な影響も発生していないこと等から軽微なものを見込んでおります。

今後、開示すべき事由が生じた場合には、速やかに開示いたします。

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

経営企画部 IR・広報グループ

TEL 0268 (64) 2281

E-mail mimaki-ir@mimaki.jp

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。